

K S K P  
N O . 1



クリエイティブハウス  
だより

発行 1993年6月

編集 クリエイティブハウス  
“パンジー”

クリエイティブハウス「パンジー」がオープンして2カ月。これまでお世話になった人達、これからお世話になる人達を招いてのオープンセレモニー。そして、つばさからの人達と、新しくつきあうことになった知的障害を持つ人達や、新しい職員達。それぞれの人達の思いが集まってはじけて、毎日がドラマティックな日々でした。

2カ月を経て、各々がパンジーのオープンによせた思いも落ち着きをみせはじめました。「ごはんやでー。お茶やでー。」と、みんなに知らせてくれるN君。昼食の配膳や食器の片付けを手伝ってくれるY君。昼食後、マイク片手に甘い声を聴かせてくれるA君。音楽に合わせて踊って、ついでお腹の筋肉も動かせて、みんなを楽しませてくれるI君。「あれ、いない。」と思うと、ちゃっかりと2階の自立生活体験室で布団にもぐりこんでいるM君。車椅子を放り出して自力で2階にあがってしまい、そのたくましさにもみんなに目を見はらせてしまうT君。一人一人がしっかりと、その人にしかできない役割をになっています。そして、みんなの楽しそうな顔が、「準備はOKよ！さて、次は何だ！」と言っているようです。

さて、次は何だろう。固い言葉で表現すれば、ワークタイムの充実だったり、自立に向けての取り組みだったりするのでしょうか。しかし、しばらくは、それぞれの人達とじっくりつきあいたいと思っています。そんなつきあいの中から、きっとみんなの力で、「なにか」が作り上げられていくのだろう、という予感がしています。

なにはさておき、ぜひ、ハーブの香りのただようパンジーにおこしく下さい。そして、メンバー達との新しいつきあいが始まることを願っています。(よしみ)

## 各部門より紹介

### パン

■ ■ パン屋の窓からこんにちは ■ ■



この便りが、お手元に届く頃には確かに確かに、パン屋は、始まっているはず……。ゆったりとした建物の中でパン屋のみ、せかせかと分単位の時間におわれ、バタバタと仕事をするのはかなわんな〜と思い悩んでいたところ、なぜか、せかせかするのがだいきらいな伊東先生にその方法を教わる内、悩みはすっかり解消し、何か大いなる意志を感じてしまいました。施設の作業の中では、一番スタートが遅れる事になってしまったわけですが、ゆったりした歩調から、さてどんなパンが出来上がってくるか、御期待あれ！天窓から差し込む太陽の光をいっぱいにうけながら、メニューや値段はどうするとか、注文表もつくらなあかんとか、週に3日焼くことになったけど配達はどうする、などの問題が、そろり、そろりと浮かんできています。

(ひ)

### 内職



こちらは内職部門です。

「内職部門の一日は、洗濯ばさみで始まり、洗濯ばさみで終わる」こんな言葉ができるくらい、今内職部門は洗濯ばさみの山、山、山……。これだけの洗濯ばさみの山を見るのは、生まれて初めてで少しびっくりしています。普段なにげなく使っていてもじっくり見ることもない洗濯ばさみ。実はこれ、作るのはけっこう細かくて難しいのです。しかし、メンバーはみんなとてもやる気マンマン。4月から始めたばかりなのに、どんどんと仕事は進んでいきあつという間にできてしまいます。気分はすっかり洗濯ばさみ職人というかんじです。

毎日とてもにぎやかな内職部門のメンバーの面々。これからもっともっと活気づいていきそうので本当に楽しみです。今後とも、どうかよろしくお願ひします。

(はま)

## 園芸



初めてお目にかかります。パンジーの園芸部門です。

奈良で「花咲香」(はなさか)という花屋さんを開いている横田さんに手伝ってもらってオープンしたばかりです。

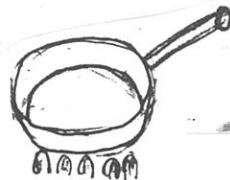
ガラス張りの店内には、季節のペチュニア・インパチェンス・サルビア・ゼラニウム・各種ハーブの苗や、ベンジャミン・スパティなどの観葉植物、ドライフラワー、植木鉢、かご、ハーブティー、ハーブ石鹸などのインテリアグッズも、売っています。

今はお店にいるだけで、みんなとうれしくなっていて、ひでき君が毎日せっせと水かけをしてくれます。どうぞお店をのぞきにきて下さい。中庭にはハーブ園ができ、気持ちよさそうに風にそよんでいます。

これから徐々に農園の整備や観葉植物のリース、\*ミニ花壇の植え付けなど植栽に関する出張サービスの中身づくりにとりかかっています。その節は、御注文のほどよろしく願いいたします。

(あけみ)

## 厨房



河野

桜も終わり、今パンジーの庭は若葉が日に日に育ち春の光に輝いています。何もかもがま新しい厨房で緊張しながらピカピカのレンジに第一火を点火して以来、何度も、分量を間違えたり、時間に間にあわなかったりの失敗の連続の中、年若き諸先輩に支えられて、どうにか一ヶ月過すことが出来ました。

朝九時すぎ、バスの到着と共にカウンターの向こう側で展開される人間ドラマに時間のたつのも忘れる一ヶ月でもありました。

四月九日の入所式ではちょっと緊張していた新人通所者も日々リラックスし、それぞれが持てる能力を発揮し生き生きしていく様が厨房からもはっきり見ることが出来、開放的な建物同様、一見放任の様に映るその奥に一人一人を尊重し信頼しているパンジーの姿勢が理解され、通所者の親の一人としてうれしく思っています。

最近「男だったら♪～」、「いやなのよ～」etc.

通所者の口ぐせを知らず知らず口ずさんでいる自分にあきれながら、我家の他の子ども達がわが道を進む中、身障者と高令者が社会参加と自立に向かって、二人三脚で一步をふみ出したかな・・・と自負する、新しい春なのです。

・・・あしんど・・・。

厨房に対する御意見をお待ちしています。

## パンジーメンバー紹介

麻窪 みどり (あさくぼ みどり)

新しいパンジーにかわってから友達がたくさんできたような気がします。あといろいろなナイショクがあったらいいなあとおもっています。昭和42年3月8日生まれ。小さかった頃はおとなしい子でした。2才の時にうたをおぼえているころでした。もりしんいちのうたをテレビでよくみながらいつもれんしゅうをしていました。ほんとうは好きで大きくなったのではないよ。



東 到央郎 (あずま ふみこ) {本名は、東 徹 (とおる) です。}

住所：交野市郡津2丁目1番4号 電話：マルナナニマル キュウサンマルニサンハチ 俺のあだ名は村口敦子です。好きな食べ物：グラタン、トナリシラズ。嫌いな食べ物：不味いもの、おじや、腐った物、魚。趣味：我が儘通らへんかったら泣く事。右の親指を鼻の穴に入れてだいじょうぶってする事。血液：AB。御姉ちゃんに良く注意される事：「テレビを小さくしよ」「嘘をつくな」。好きな物：女 車 お金。言われて嫌な事：「顔洗ってるのか目糞付いてる。」

(東 徹)



生田 進 (いくた すすむ)

からおけ うたう 「おはん」 「あなたほしい」  
カナダいく べんきょうする。 ひこうきのの3かいめ。  
パンや 6月からする。 ほうじんうれしい。



小川 美代子 (おがわ みよこ)

今年4月からパンジーでみんなと一緒に働いています。それまでは社会人、浪人、学生とどたばたとした人生を送っていました。私のパンジーでの夢は、パンジーに来てみんなと楽団を作って、音楽を通して遊ぶ事です。それは何年かかるかわからないけど、できればいいなあと日々思っています。もし古い楽器、いらぬ楽器があれば教えて下さい。



☆

・パンジーのメンバーを五音順に3回に分けて紹介します。



池淵 太一 (いけぶち たいち)

身長174センチとすこし。体重100ウンキロ。気は優しく力持ちとバッチシかつこ良く決めたいところなんです、実はちよっぴり甘えん坊さんでこわがり屋です。食べるの大好き、おどるの大好き、仕事はまあまあかな？ 皆と楽しく過ごせたらいいのになあーと思っています。ヨロシク！



(母 代筆)

内海 裕三夫 (うつみ ひさお)

好きな食べ物は、カレーと焼きとりとギョーザとりんごです。パンジーの内職が楽しいです。これからも頑張りますのでよろしくお願いします。ゲームが好きです。



梅原 義教 (うめはら よしのり)

僕は、初めて仕事をやって、最初はしんどかったけれど、後から何日間かがんばって、だんだん慣れてきた。

阪神タイガースが、今年は大丈夫、優勝する。阪神は若手ばかり使って、よくがんばっている。岡田とか、真弓とか、平田は、あんまり打たないけど、西武の秋山と、清原が、阪神に来てほしいと思っています。



河野 佳寿子 (かわの かずこ)

四月開所と同時に厨房でお昼ごはんを作っています。通所者の親と職員と二足のわらじをはくことになりました。給食をうれしそうに食べてくれるみんなの顔を見るのが、このごろの生きがいです。五十路の新人、体力と時間の限界に挑戦しつつ一日も長く続けられる様、がんばっております。どうぞよろしく願いいたします。

## 大西 幹子 (おおにし もとこ)

まいにち しごとが しんどいです。

ちょうないかいの ようじがあったらやすみます。

もう しごとやめたいです。

たまにきぶんがわるくなります。



## 川西 秀機 (かわにし ひでき)

好きな食べ物：お肉、大根、なすび、ごはん、紅茶。

好きなテレビ：「楽しい夕食」「スーパーダイスQ」「マラソン」

好きな所：ニチイ、イズミヤ、ダイエー、西武百貨店、サカエ。

好きな遊び：おはじき、ビーズ、ビー玉、自転車、電車、自動車、外で遊ぶ。

今年もよろしくお願ひしまーす！



## 竹内 弘 (たけうち ひろし)

パンジーバス運転手

趣味はカラオケ・釣り・野球（草野球ピッチャー）・クラシックギター（十八番は『影を慕いて』）。思い出は、国鉄に14～5年いた頃、四国の阿波池田の保線区を受け持っていたが自分が“手抜き”をしていたから、そこだけ電車がよく揺れたこと。嫁はんには苦勞をかけっぱなしなので、あとの残した人生を仲良くそして悔いなく過ごしたいと思います。



## 西尾 一美 (にしお かずみ)

昨年の春にパンジーのみんなのところへたどり着きました。それまでは俳優養成所で女優を目指しては、あの統一協会に洗脳されて深夜脱走し、教師を目指し…… etcフラフラしていました。いつも真剣だけど、転けてばかりしてきたのは、ここのみんなの個性に出会うためだったのかなあ？と思っています。何年後、みんなの個性で芝居を作れたら……みんなよろしくネ！



# 6/24 ~ 7/4 “ピープルファースト世界会議” (カナダにて) 参加するメンバーにインタビュー

まず、ピープルファーストとは、知的障害とその他の発達障害を持つ人々の団体です。この名前は、「障害者である前に人間だ」という意味をもち、地域で人間らしく生きる為、障害者である当事者同士が、力をよせあい、いろんな運動を作っています。活動は、アメリカやカナダをはじめとし、日本では去年ぐらいからはじまり、その世界会議の第3回目、6月にカナダで行われます。そして、この会議にパンジーから、西尾君、一男君（清水）、生田さん、みどりさん（麻窪）らが、参加します。このカナダ行きをひかえて、どんな思いを抱いているかをききました。

はじめ、＜カナダ＞についての印象をたずねました。

西尾君 「フランス語わからんから、つらいかなあ。」

一男君 「広い。英語。」

生田さん 「まあ広いとおもうわ。行ってみなわからん。」

みどりさん 「カナダにも歩けない人とか、いると思う。カナダにも電車乗るときに、段差あんのかなあと思う。」

次に、今の心境を教えてくださいました。

西尾君 「非常にワクワクしてる。ひとりで海外行くの初めてやから、ワクワクしてる。日本よりもっといっぱい友だちつくって、勉強したい。英語を覚えてこようと、思ってる。」

一男君 「カナダの件？早く行けたらえーなあおもてたけど、今はカナダいくより内職の方がええ。」

生田さん 「向こうに、ぼくみたいに自立してる人がいるさかいに、会って勉強してこようおもってんねん。でも、飛行機は、こわいさかい緊張する。」

みどりさん 「生まれて初めて飛行機のるから、緊張してる。言葉が通じないから困ってる。あと、むこうへ行ったら買い物したい。いろんなお店見てみたい。」

と、以上のようにそれぞれ、何かを得たいという気持ちは、共通しているみたいで、それらがのちに、当事者主体の活動のバネになればいいなと思います。

(M・O)

学 習 コ ー ナ ー

『障害者の自立と親の自立』

BY 楠 敏雄

1. このテーマはまさに「古くて新しい問題」です。このうち障害者の自立については種々の角度から論議がなされ、いくつかの見解も出されていますが、親（ここではいうまでもなく障害者を子どもに持つ親を指していますが）の自立についてはそれほど明確な主張はなされていません。なぜなら、障害者当事者の立場からならいざしらず、第三者が親についてあれこれ論ずることはいわば「タブー」の領域だったからです。親は障害者を治療する為の様々な方法に関しては、必死で様々な主張に耳を傾けますが、自分の生き方に対する批判には容易には耳を傾けようとはしません。いわく「この子の気持ちは私が一番よく知っている。」「こんな子を持った者でなければ、このしんどさをわかるはずがない。」これらの言葉は非常な重さを持っており、それを聞かされた相手は口を閉じざるを得ません。またこうしたことはある意味では真実ですが、別な角度から見れば大きな誤りや危険性をも含んでいることも事実です。この点については、また別な機会に述べることにします。

ところで、たいていの親は生まれてくる自分たちの子どもが障害者であることなど願いはしませんし、遺伝など一部の例外的なケースを除けばそれを予想だにしていなくてしょう。出産を目前に控えた一般の親たちの間でよく「五体満足でさえあったら欲は言わない」といった会話が交わされることがありますが、裏をかえせば、「もし五体満足でなかったら」といった不安や「わが家に限ってそんな子が生まれるはずがない」との強い思いが込められているとも言えるでしょう。

さて、障害児が生まれることなど全く予期していなかった家庭に、そんな子が生まれてきたら親の思いはどのように変化するでしょう。かわいいわが子の誕生をひたすら待ち望んでいた彼らの多くは、喜びの絶頂から、一挙に絶望の谷底へ突き落とされたような思いを抱くことでしょう。最近でこそ、そこまで露骨に言い合う例は減っているでしょうが、父方母方の両親がそれぞれ相手方の「血統」のせいにし、とりわけ舅や姑は「嫁いびり」の格好の材料とすることでしょう。げんに私自身も小さい頃よく母と祖母が私の目のことで言いあいをするのを聞かされて、子ども心にもいたたまれぬ思いを味あわされたものです。・・・つづく



## 御協力ありがとうございました。

これまで、クリエイティブハウス「パンジー」設立の為に寄付・カンパ・イベントなど御協力いただいた方です。お名前が漏れていらっしゃる方がありましたらお手数をおかけいたしますが、御連絡下さい。(敬称を略させていただきました。)

青木 京子	国乗 きみ	神田 千代子
青 新一	久保田 卓	西浦
青山 純代	栗原 久	菜嶋 和彦
安積 遊歩	黒川 優子	西尾 玉枝
東 稔	香山 よしの	西尾 八千穂
飯田 力	國分 美子	錦見 はま
池田 路歌	斎藤 興志子	仁科 福代
石川 雅裕	佐藤 忠義	春木 映子
石崎 和美	坂本 千代子	野角 伸子
石原 正子	佐久本 洋二	橋本 幸子
泉原 龍見	佐々木 三恵子	長谷部 雅世
泉原 寛康	佐藤 真由美	畑 健次郎
伊藤 雅夫	佐藤 真弓	肌勢 栄枝
井戸 信次	佐藤 優美子	浜 樹子
犬童 ルミ	佐野 喜美	坂本 百合
猪瀬 泰美	佐野 妙子	清原 奈津子
猪股 勝世	塩田 隆	原 章子
奥村 貴夫	田村 恵美子	廣川 典子
岩国 正次	柴田 広治	樋渡 和敬
岩佐 フミ子	下農 美智子	福井 三千男
岩永 清滋	田中 美智子	福永 寿美子
岩山 直功	白石 厚子	藤本 佳永子
植田 弘幸	砂川 純子	岩出 みどり
魚田 悦子	杉本 章	前田 公子
梅谷 明子	芹田 希和子	前田 静江
枝本 信一郎	高木 秀夫	牧口 一二
榎本 志夫	多賀 稔	松本 郁夫
大倉 厚子	高田 仁	西山 一夫
大谷 裕子	滝川 信明	井川
大槻 小浪	滝沢 厚子	三崎 令子
岡田	竹川 節子	三島 明美
岡本 雅嗣	竹村 治歌子	伊藤 雅夫
岡本 伶子	竹内 邦明	無着 麗子
小川 節子	立村 久利子	免田 美千代
奥野 努	田中 誠	村瀬 イワエ
小原 京子	谷川 伸男	守住 多江子
嘉悦 登	谷畑 孝	柳 久子

梯 信勝	多屋 寿子	山崎 知子
加地 律代	墳下 智里	山中 多美男
岸本 啓子	坪香 正子	森下 裕美
川口 志郎	土橋 恵子	今城 善夫
寺田 佳代	由井 信子	大野
川端 利彦	徳田 輝美	米原 裕子
神田 千代子	飯田	横山 郁子
木下 絹江	中新井 滯子	横山 増美
木原 恵子	中澤 数馬	吉田 佳子
楠 敏雄	中西 信幸	吉田 美栄子
久多里 正行	中林 恵子	芳野 和夫
岡野 等	片田 邦昭	武田 龍三
片岡 暁	自立の家のぞみ	
エンゼル保育園	大阪府立東大阪養護学校	
近鉄労組本社支部	大倉振興株式会社	
東鴻池第2府営住宅自治会	朝日ナショナル照明労働組合	
大阪産業大学	ひびき福祉会	
全通東大阪支部	大阪府立大東園	
社会福祉法人大阪府総合福祉協会	大和精工労働組合	
大阪ガス東部支部	共同連	
聖心製作所労組	しょう会大阪連合会	
布施郵便局部落解放研究会	全郵政労組	
素肌コスメチック株式会社	大阪ガス東部支部	
部落解放障害者(児)組合大阪府連絡協議会連絡	たけのこ作業所	
全電通布施労働組合	フセラシ労働組合	
マッサク	明和グラビア労働組合	
とくふうホーム	松島冷機労働組合	
ヨコタ工業支部	若草園理事長	
豊能障害者労働センター	近畿車両労働組合	
若草園施設長	自治労東大阪労組	
日本社会党東大阪市議会議	わだち作業所	
ノーマライゼーション協会	アトリエ・ホロニカ	
パンジー保護者会	東大阪市教職員組合	
社会福祉法人路交館	東大阪市施設労働組合	
ロブテックス労働組合	東大阪市役所労働組合	
タツタ電線労働組合	羽曳野中学校	
関西電力東大阪	中部障害者解放センター	
八百屋「連」	東大阪市学校園給食調理員労働組合	
東大阪市水道労働組合	サンヨー電気株式会社	
くすの木クリニック	大阪ガス小さな灯運動東部支部	
近鉄労組本社支部	東大阪市清掃施設組合職員労働組合	
東大阪市従業員労働組合		
八尾市教職員組合		

編集人 東大阪市東鴻池町2-4-8

クリエイティブハウス TEL. 0729・63・8818

“パンジー” FAX. 0729・63・8825

発行人 関西障害者定期刊行物協会

大阪市城東区東中浜2-10-13

緑橋グリーンハイム1F・アト企画気付